

宇都宮共和大学 都市経済研究センターの主な活動報告

2020年度における都市経済研究センターの主な活動を報告します。

1 運営体制

センター長 古池 弘隆
副センター長 渡邊 瑛季
運営委員長 渡邊 瑛季
運営委員 内藤 英二, 高丸 圭一, 大石 和博, 西山 弘泰

2 シンポジウムの開催

テーマ 栃木県における「MICE未来都市」の創造戦略—産官学民によるDMOの具体的な運営を考える—
期 日 2021年2月9日(火)
会 場 宇都宮共和大学 宇都宮シティキャンパス
参加者 118名

3 那須塩原市民大学運営委員会

那須塩原市が設置した「令和2年度那須塩原市民大学運営委員会」において、内藤英二が運営委員を務めました。

4 講師派遣制度

(1) 第1回講師派遣

主 催 宇都宮市創造都市研究センター
期 日 2020年9月25日(金)
テーマ 「地域資源と今後の観光まちづくり」
講 師 シティライフ学部 渡邊 瑛季 専任講師
参加者 10名

(2) 第2回講師派遣

主 催 東京都福生市公民館白梅分館
開催日 2021年1月10日(日)
テーマ 「あなたのSNS利用は大丈夫? インターネット利用から人権問題を考えよう」
講 師 シティライフ学部 吉良 貴之 専任講師
参加者 10名

5 共同研究

- (1) 件名 「城山地区の地域・観光振興に関する研究」
- (2) 研究班の構成
 - ・研究代表者 渡邊瑛季（宇都宮共和大学専任講師）
 - ・共同研究員 西山弘泰（宇都宮共和大学専任講師）
 - 〃 吉野清史（宇都宮共和大学客員研究員）
 - 〃 三浦魁斗（宇都宮共和大学客員研究員）
- (3) 研究期間 2020年4月～2021年3月
- (4) 研究成果 本誌に記載

6 宇都宮市創造都市研究センター

宇都宮市創造都市研究センターは、宇都宮市内の私立4大学（宇都宮共和大学、作新学院大学、文星芸術大学、帝京大学宇都宮キャンパス）と自治体・産業界等が連携し、宇都宮都市圏の創造都市による発展を目指し、2017年10月に設立されたプラットホームです（センター長：宇都宮共和大学長 須賀英之）。本事業は、文部科学省の「私立大学総合改革支援事業（タイプ3関連事業）」に選定されています。

(1) 宇都宮市創造都市研究センター共催シンポジウム

- 主 催 宇都宮共和大学都市経済研究センター・宇都宮まちづくり推進機構
- 共 催 宇都宮市創造都市研究センター・大学コンソーシアムとちぎ
- 期 日 2021年2月9日（火）
- 会 場 宇都宮共和大学宇都宮シティキャンパス
- テーマ 栃木県における「MICE未来都市」の創造戦略—産官学民によるDMOの具体的な運営を考える—
- 参加者 118名

7 とちぎ観光資源活用研究会

とちぎ観光資源活用研究会は、産学官連携サテライトオフィスが観光問題に関心を持つ栃木県内の大学等の研究者をコーディネートすることによって、2005年6月に組織されました。異分野の多種多様な人材を連携・融合して、単なるアカデミックな研究だけではなく、研究成果が政策に活かされる提言を目指しています。大学・高専の教員、シンクタンク等に勤務する研究員などを会員とし、2018年度から本学都市経済研究センターの内藤英二が世話人を務めています。

(1) 第77回とちぎ観光資源活用研究会

- 期 日 2020年10月30日（金）
- 会 場 宇都宮シティキャンパス教育厚生棟2階、オンライン

講 師 小野崎一氏（国民宿舎かじか荘支配人）

テーマ 新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえた新しい観光のあり方

参加者 15名

(2) 第78回とちぎ観光資源活用研究会

期 日 2021年2月26日（金）

会 場 宇都宮シティキャンパス教育厚生棟2階，オンライン

講 師 西山弘泰・渡邊瑛季（いずれも宇都宮共和大学専任講師）

テーマ 「シティクエスト in 宇都宮～スマホを活用したまち歩きシステムの開発～」(西山)

「地域との連携によるツアー造成活動から考える大学のゼミ」(渡邊)

参加者 7名

8 地域産学官連携活動

大学コンソーシアムとちぎ，とちぎ産業振興ネットワーク推進会議（事務局：栃木県産業振興センター），うつのみや次世代産業イノベーション推進会議（事務局：宇都宮市産業政策課）等，地域産学官連携事業の对外窓口業務を展開しました。

また，「プラチナ社会研究会」（株式会社三菱総合研究所主宰）に賛助会員として参加し，次世代の社会モデル等に関する情報収集・交換を行いました。

9 出版物

『宇都宮共和大学都市経済研究センター年報2021第21号』2021年5月発行